

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 155

事務事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	矢嶋 佳子	内線	141

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020101	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		健康づくりの推進
関連施策	020402	社会保障制度の安定的運営

会計	国民健康保険事業特別会計	
款	08	保健事業費
項	01	保健事業費
目	01	特定健康診査等事業
事業コード	020000	特定健康診査等事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	特定健康診査等実施計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	大村市国民健康保険の被保険者で40~74歳の者及び長崎県後期高齢者医療の被保険者である大村市民のうちの糖尿病性腎症患者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	糖尿病性腎症の患者に対して、人工透析導入の予防又は導入の時期を遅らせることで医療費の抑制を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	1 糖尿病性腎症の患者に対し、かかりつけ医の指示のもと管理栄養士及び保健師が生活・栄養指導を実施する。 2 医療機関と連携し、糖尿病患者が適切な受療行動を取ることができるよう支援する。		
事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	高齢者の医療の確保に関する法律		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① 生活・栄養指導プログラム参加率	計画値				30.0	平成28年度新規事業	
		実績値						
	参加者数/対象者数	達成度						
		計画値						
成果指標	① 検査値が改善・維持している者の割合	計画値				50.0	平成28年度新規事業	
		実績値						
	検査値が改善・維持している者の人数/参加者数	達成度						
		計画値						
	② 人工透析に係る医療費	計画値	千円				450,000	平成28年度新規事業
		実績値						
	KDBシステムより引用	達成度						

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	0	3,297	3,526	3,526	3,526	0
国庫支出金								
県支出金				2,937	3,526	3,526	3,526	
地方債				360				
その他 一般財源								
② 人件費(千円)	0	0	0	3,142	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)				0.41	生活・栄養指導	生活・栄養指導	生活・栄養指導	
時間外勤務(時間)				80				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	0	6,439				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成28年度からの新規事業のため、医師会会議等で事業への協力を依頼した。また、医療機関と行政が連携した重症化予防の取り組みについて、糖尿病専門医を中心とした会議の場で協議を重ねている。
事業が抱える問題・課題等	かかりつけ医と連携し、医療と保健指導の両面から、継続的に対象者を支援することが、本事業を効果的に進める上で必須となる。しかし、現在、かかりつけ医との連絡や検査結果及び指導結果の報告は、文書でのやり取りが中心であり、また、対象者の持つ検査結果の情報提供に頼っているため、迅速に支援につなげることができていない。継続的かつ効果的に事業を進めるためには、医療との連携が可能なシステムの導入が必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	人工透析導入の予防又は導入の時期を遅らせるためには、糖尿病性腎症が重症化する前に、生活・栄養指導を行う必要がある。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	保険者である市が主体的に管理栄養士による栄養指導を行う必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市と医療機関が連携することで、多くの対象者が栄養指導を受けることができ、ひいては糖尿病性腎症の重症化予防及び医療費の抑制につながる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	生活・栄養指導を行うために最低限必要な人員で実施する。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	事業の趣旨により、参加者から料金を徴収することは適切ではない。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充
--------	----

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	糖尿病患者の重症化予防を図るためには、医療との連携が必要である。現在、県内には、かかりつけ医と拠点病院との連携を目的とした疾病管理システムとして「あじさいネット」があり、長崎医療センターや大村市民病院など市内の拠点病院も登録をしている。このシステムを市も活用することで、専門医、かかりつけ医及び行政の3者の立場から、糖尿病患者に対し、効率的に重症化予防を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	糖尿病の重症化予防に取り組むことで、合併症を予防することができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。